

Corporate Presentation

2010年3月期 第1四半期 決算説明資料

T&G

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ
東京証券取引所市場第一部(証券コード:4331)
www.tgn.co.jp

目次

- 1. 2010年3月期 第1四半期 連結業績について 3P
- 2. 2010年3月期 事業進捗と業績予想 12P
- 3. 補足資料 18P

1

Results of First quarter FY Ending March 31 , 2010

2010年3月期 第1四半期 連結業績について

TAKE AND GIVE. NEEDS Co., Ltd.
TSE 1ST SECTION:4331
www.tgn.co.jp

《 連結決算 概況 》

・昨年同期比では全項目で上回り、堅調な決算となった

(単位:百万円)

	2009年3月期1Q	2010年3月期1Q	前年比	(参考) 2009年3月期通期
売上高	10,890	11,617	+6.7%	46,206
売上総利益	5,415	6,283	+16.0%	23,650
売上総利益率	49.7%	54.1%	+4.4pt	51.2%
販管費	6,248	5,399	-13.6%	22,974
販管费率	57.4%	46.5%	-10.9pt	49.7%
営業利益	△ 832	884	-	675
営業利益率	-7.6%	7.6%	+15.3pt	1.5%
経常利益	△ 1,181	734	-	31
経常利益率	-10.8%	6.3%	+17.2pt	0.1%
四半期純利益	△ 842	187	-	△ 1,048
四半期純利益率	-7.7%	1.6%	+9.3pt	-2.3%

- ・当第1四半期は、前期からの回復基調を継続
- ・売上原価、販管費ともに、前期より推進してきた構造的見直しが奏功し、抑制に成功
- ・対前年同期比では、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益共に増加した

《 国内ウェディング事業 売上高 》

・直営店型は引き続き安定的な回復基調、提携型はほぼ前年同期並みとなった

(単位:百万円)

	2009年3月期1Q 売上高	2010年3月期1Q 売上高	構成比	前年比
売上高	9,872	10,494	100.0%	+6.3%
直営店型	8,980	9,657	92.0%	+7.5%
レストラン提携型	792	703	6.7%	-11.2%
その他(一般宴会・試食会等)	99	132	1.3%	+33.4%

国内ウェディング事業

直営店型 詳細

	2009年3月期1Q	2010年3月期1Q	前年差異	前年比
売上高(百万円) (*1)	8,980	9,657	+676	+7.5%
会場数	88	87	-1	-1.1%
取扱組数	2,193	2,520	+327	+14.9%
挙式披露宴単価(千円) (A)	4,035	3,799	-236	-5.9%
平均出席人数 (B)	83	74	-9	-10.8%
一人当たり単価(円) (A/B)	48,744	51,349	+2,605	+5.3%

※1 売上高には、挙式・挙式披露宴当日の売上以外に、結婚式後の追加売上高(写真の焼増し等)が含まれております。

・挙式単価は前期を下回ったものの、挙式件数の増加により、売上高は拡大
・少人数パーティが増加したことで平均出席人数が減少し、単価が下落した

レストラン提携型 詳細

	2009年3月期1Q	2010年3月期1Q	前年差異	前年比
売上高(百万円)	792	703	-88	-11.2%
会場数	16	15	-1	-6.3%
取扱組数	305	277	-28	-9.2%
挙式披露宴単価(千円)	2,569	2,516	-52	-2.0%

・前年同期比では、提携会場数の減少に伴い、件数が減少した

《 販売費及び一般管理費・営業利益 》

・売上原価、販管費のコントロールが進み、営業利益は黒字転換した

(単位:百万円)

	2009年3月期1Q	2010年3月期1Q	前年差異
売上高	10,890	11,617	+727
売上原価	5,474	5,333	-140
販売費及び一般管理費計	6,248	5,399	-848
営業利益	△832	884	+1,716

- ・売上原価 前期からの購買戦略変更による商品仕入原価の低減効果が当四半期も継続した結果、原価率は4.3%の低下となった。
- ・販管費 販管費においても、同様に前期からの見直しによって圧縮が進むあらゆる販管費項目を見直し、またコスト管理手法を変更するなど、コスト構造改革を断行した。
これにより、余分なコストを削ぎ落とした筋肉質な事業体質に進化した。

《 営業外損益・特別損益・純損益 》

- ・特別損失として本社移転関連の引当金、及び資産売却による評価損を計上
- ・この結果、経常利益は黒字転換、純利益は赤字縮小となった

(単位:百万円)

	2009年3月期1Q	2010年3月期1Q	前年差異
営業利益	△ 832	884	+1,716
営業外損益 合計	△ 350	△ 150	+199
経常利益	△ 1,181	734	+1,915
特別損益 合計	11	△ 403	-412
税前利益	△ 1,170	331	+1,502
四半期純利益	△ 842	187	+1,029

・営業外損益 支払利息(－159百万円)

・特別損益 本社移転費用引当金繰入額(－98百万円)
投資有価証券評価損 (－320百万円) SPC清算に伴う出資金の評価損

《 事業セグメント別 実績 》

・全事業セグメントで売上高・営業利益共に増加し、堅調な進捗となっている

(単位:百万円)

	2009年3月期1Q		2010年3月期1Q		前年差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内ウェディング事業	9,872	△ 179	10,494	1,308	+621	+1,488
海外・リゾートウェディング事業	631	△ 36	735	12	+104	+49
結婚派生事業	386	△ 50	387	△ 26	+1	+24
小計	10,890	△ 267	11,617	1,294	+727	+1,561
消去及び全社費用	-	△ 564	-	△ 410	-	+154
連結	10,890	△ 832	11,617	884	+727	+1,716

・国内ウェディング事業:株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ

・海外・リゾートウェディング事業:(株)グッドラック・コーポレーション

・結婚派生事業:(株)アニバーサリートラベル(旅行)、(株)総合生活(結婚ポータルサイト)、
(株)ライフエンジェル(結婚資金融資)など

・国内ウェディング事業

⇒ 第1四半期での施行組数増加、及びコストコントロールの奏功(5ページご参照)

・海外・リゾートウェディング事業

⇒ グアムのチャペルが本格的に稼働し、売上高が増加
加えて、コスト面での抑制も効いたことで、黒字転換

・結婚派生事業

⇒ 旅行事業、融資事業は引き続き利益貢献

その他事業でも各種施策を進めたことで、セグメントの業績は改善傾向

《 連結BS 資産の部 主要変動項目 》

・資産の部において、第1四半期は大きな変動無し

(単位:百万円)

【増減要因】

	2009年3月末	2009年6月末	増減
流動資産合計	5,195	5,094	-101
現金及び預金	2,865	2,472	-393
売掛金	243	257	+14
その他	2,087	2,364	+277
固定資産合計	36,229	36,507	+278
有形固定資産計	22,345	22,362	+17
建物及び構築物	11,844	11,759	-84
土地	9,661	9,661	+0
その他	838	940	+102
無形固定資産計	846	808	-38
投資その他の資産計	13,037	13,336	+299
長期貸付金	1,223	1,196	-27
敷金及び保証金	10,010	10,527	+517
その他	1,803	1,613	-190
資産合計	41,425	41,601	+176

キャッシュフロー計算書をご参照ください

減価償却分

不動産リースに係る積立保証金の増加

《 連結BS 負債・純資産の部 主要変動項目 》

- ・純資産は、第三者割当増資により増加した
- ・一方で負債は、債務の株式化(デットエクイティスワップ)と返済により、圧縮が進んだ

(単位:百万円)

【増減要因】

	2009年3月末	2009年6月末	増減
負債合計	29,098	27,487	-1,610
流動負債合計	11,251	10,613	-638
買掛金	2,246	1,504	-742
短期借入金	3,530	3,500	-30
一年内返済予定長期借入金	2,429	2,314	-115
その他	3,044	3,293	+249
固定負債合計	17,846	16,874	-972
長期借入金	16,447	15,522	-924
長期リース資産減損勘定	1,038	996	-41
その他	361	355	-5
純資産合計	12,326	14,114	+1,787
資本金	3,449	4,199	+749
資本剰余金	3,395	4,145	+749
利益剰余金	5,696	5,884	+187
その他	△ 214	△ 114	+99
負債・純資産合計	41,425	41,601	+176

借入金返済及び、デット・エクイティ・スワップによる減少(300百万円)など

第三者割当増資(2009年6月)による増加

《 連結キャッシュフロー計算書 》

(単位:百万円)

	2009年3月期1Q 実績	2010年3月期1Q 実績
営業活動による キャッシュフロー	△ 1,167	22
投資活動による キャッシュフロー	△ 658	△ 754
財務活動による キャッシュフロー	1,225	402

・営業活動によるキャッシュフロー

⇒ 税金等調整前四半期純利益の計上
仕入債務の減少

331百万円
△736百万円

・投資活動によるキャッシュフロー

⇒ 敷金及び保証金の差入による支出
有形固定資産の取得による支出

△532百万円
△228百万円

・財務活動によるキャッシュフロー

⇒ 株式の発行による収入
長期借入金の返済による支出

1,174百万円
△740百万円

2

Revenue plans for FY ending March 2010

2010年3月期 事業進捗および業績予想

・近隣業種企業や各種媒体とのアライアンスや提携を推進

お客様へのサービス力向上

【企業との提携】

- ・ベネフィット・ワン様(福利厚生代行)
先方からの送客受け入れの提携
- ・住友不動産様
先方への送客提携
- ・スワロフスキー社のクリスタルを使用した
ウェディングプランの開発

【セミナー開催】

- ・当社でご契約のお客様向けに、
結婚式マナー、美容、保険、アクセサリー
製作など、結婚とその周辺イベントに
関する専門家セミナーを開催

ブランド力、認知度の向上

【イベント受託】

- ・お台場の「GREEN TOKYO ガンダムプロジェクト」
にて、等身大ガンダムの前での結婚式を
プロデュースすることを発表

【タイアップPR】

- ・島谷ひとみさんや、MINMIさん、DJ KAORIさんなど
メジャーアーティストとのタイアップでメディアの
注目を集めた
- ・そのほか、雑誌「GINGER」とのタイアップ企画を始め
とした各種雑誌・TVメディアへの会場提供も多数、
さらに当社スタッフが「めざましテレビ」「ミュージック・
ステーション」などへ専門家として出演を重ね、
業界のパイオニア企業として大きな存在感を示した

**サービス力、ブランド力の再強化の施策を進め、
競争力の維持、拡大に努めた**

・約15億円の第三者割当増資を実施(6月15日)

【資金調達の目的】

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1、設備改修等の資金調達 | ⇒ 各会場の改修・修繕として8億円 |
| 2、有利子負債の圧縮 | ⇒ 債務の株式化(DES)により、3億円を削減 |
| 3、運転資金調達 | ⇒ その他は季節性資金へと充当 |

【増資概要】

・資金調達総額	1,499百万円	(株式数関係)	
(内、デット・エクイティ・スワップ	300百万円)	・本件増資による発行株式数	254,233株
・発行費用	28百万円	・発行済株式数	822,700株
・差引手取概算額	<u>1,171百万円</u>	・増資後の発行株式数	<u>1,076,933株</u>

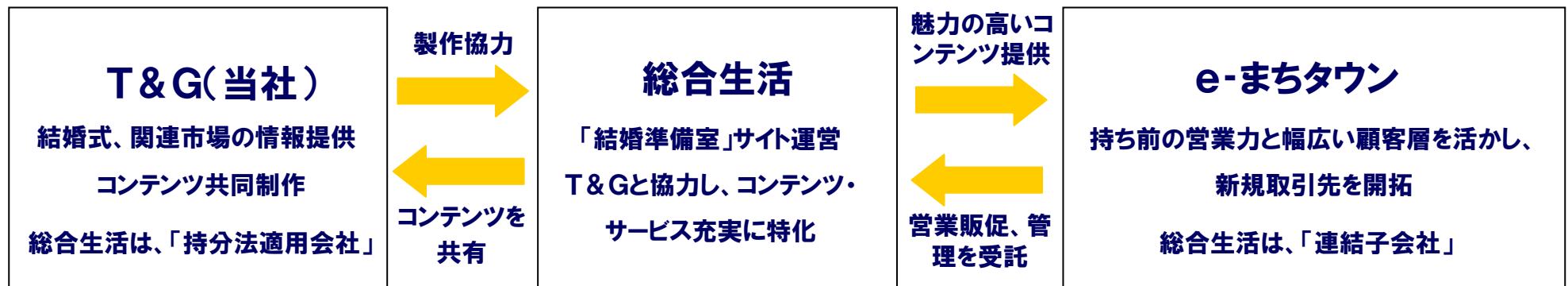
企業の財務基盤強化を推進し、経営の安定化と
中長期的な業績成長の素地を整えた

・当社子会社の株式会社総合生活と、e-まちタウン株式会社が 資本・業務提携を行う(6月22日)

・資本提携の概要

「e-まちタウン株式会社」(地域情報ポータルサイト等を運営)が、当社子会社の「株式会社総合生活」へ出資し、同社発行済株式の70.1%を所有

・業務提携のイメージ



総合生活の営業活動の自由度を高め、e-まちタウンとの協働を推進することで、事業展開を促す仕組みを構築した

《 国内ウェディング事業 直営店型 主要指標計画 》

取扱組数計画

(単位:件)

2009年3月期実績	2010年3月期計画
9,799	9,803

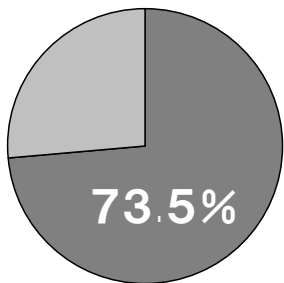
挙式披露宴単価計画

(単位:千円)

2010年3月期1Q実績	2010年3月期計画
3,799	3,905

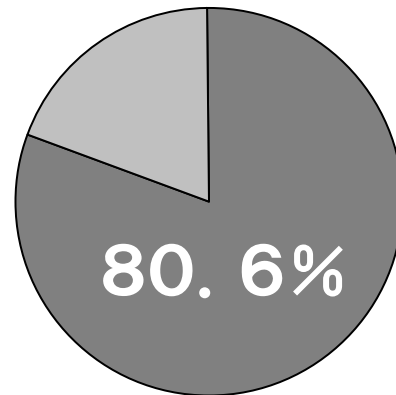
受注達成率

2008年6月末時点



※ 対2009年3月期実績

2009年6月末時点



※ 対2010年3月期計画

- ・各種営業施策が奏功し、6月末時点の受注数は順調に増加
- ・期末に向けて着実に受注を推進し、計画達成を期す

- ・1Q実績は、通期計画に比して軟調な推移となった
⇒ 少人数のパーティの割合が増加したことで、平均出席人数が減少したため

- ・昨年度下期中に、少人数パーティを積極的に受注していたことが影響



- ・今年度は受注のコントロールや、付帯商品の販売を強化するなどの対策を実施

2010年3月期の連結業績予想の見直しについて

— 2010年3月期 計画 —

《 2010年3月期 業績予想修正 》

・第2四半期累計の連結・単体業績予想について、営業利益・経常利益を上方修正する

(単位:百万円)

【2Q連結】	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期2Q実績
売上高	21,454	21,753	299	1.4%	21,005
営業利益	△ 189	403	592	-	△ 1,618
経常利益	△ 525	97	622	-	△ 1,993
当期純利益	△ 234	△ 233	1	-	△ 1,399

【2Q個別】	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期2Q実績
売上高	18,643	19,149	506	2.7%	18,762
営業利益	△ 468	112	580	-	△ 1,805
経常利益	△ 571	14	585	-	△ 1,836
当期純利益	△ 284	△ 262	22	-	△ 1,295

- ・1Q実績、及び2Qの見込みを反映し、2Q累計連結・単体業績予想の営業利益、経常利益を上方修正
- ・2Q累計連結・単体純利益は、1Qで特別損失を計上したものの、ほぼ当初計画通りの見込み
- ・通期業績予想に関しては現時点では修正しない

「人の心を、人生を豊かにする」

本資料は株式会社テイクアンドギヴ・ニーズの2010年3月期の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

代表取締役社長 野尻 佳孝

(IR お 問 合 せ 先) 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 経営管理部

Tel : 03-5469-3070

Email : ir@tgn.co.jp

T&G

<http://www.tgn.co.jp/company/ir>